



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

新年のご挨拶

歯科病院長 榎 宏太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、良い年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

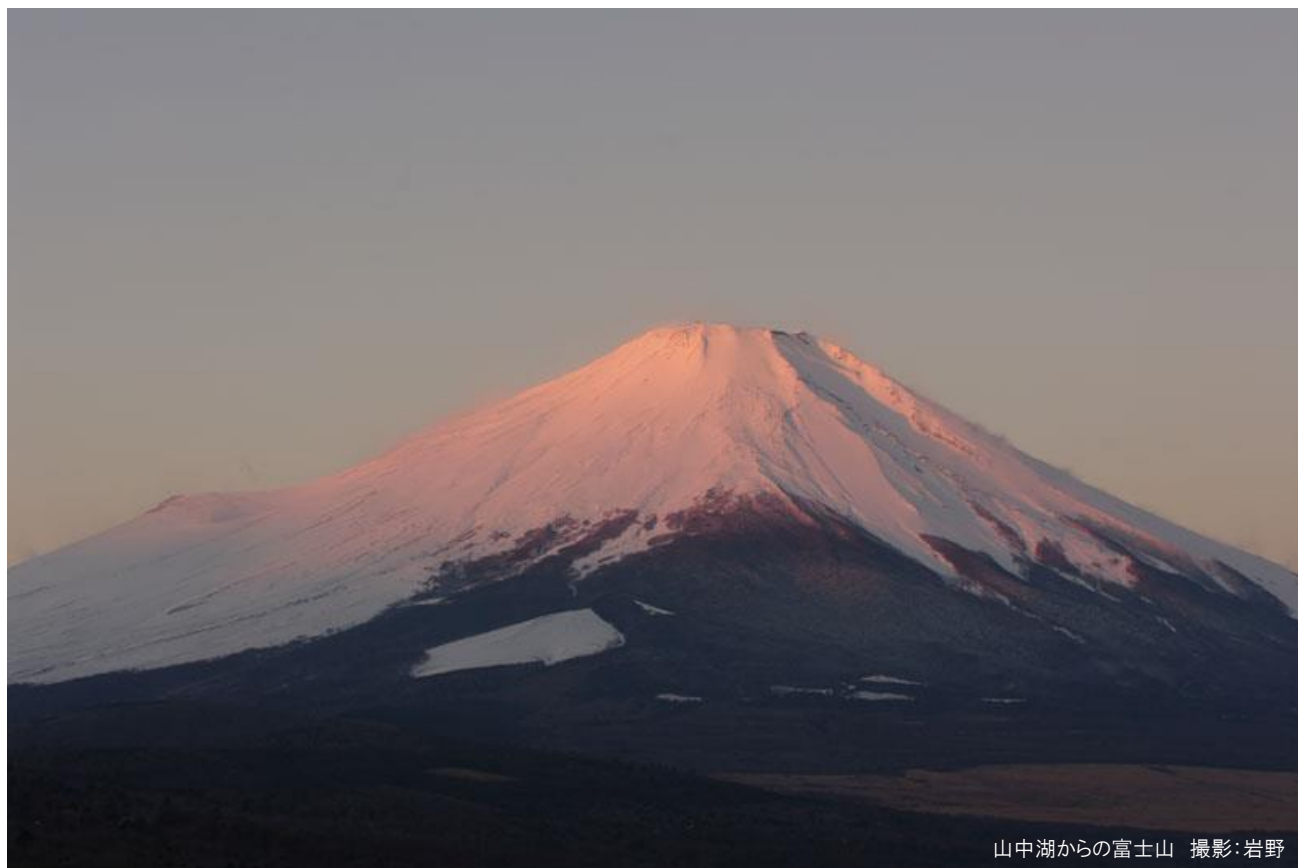
また、平素から当歯科病院に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本学では、昨年、国内の大学では初めてとなる医歯学部連携による頭頸部腫瘍センターと口腔腫瘍外科が新設されました。日本の口腔がん治療に大きく寄与するものと思われまます。また、CAD/CAMの導入による新しい歯科治療もスタートし、治療期間の短縮や医療コストの削減が図られました。さらに、本年度中には各診療科におけるクリニカルインディケータ（臨床指標）が策定・

実施される予定です。これにより我々の歯科診療の客観的な評価と、それに基づいた質と安全の担保がより一層確実なものとなります。

そして、今年も、全教職員の『やりがい』や、『達成感』にも焦点をあて、内面からさらに明るく輝く医療機関を目指したいと考えます。

本年も、教職員一同、『至誠一貫』を胸に、日々の業務に励みますので、どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

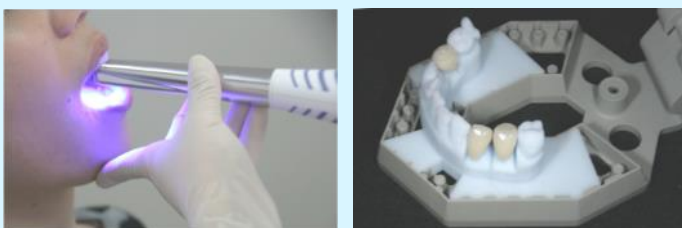


山中湖からの富士山 撮影:岩野

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はSTAP細胞、消費税8%スタート、田中将大投手がヤンキースで大活躍、世界文化遺産に「富岡製糸場」、全米テニスで錦織圭選手が準優勝、ノーベル物理学賞に青色LEDを開発した赤崎勇氏、天野浩氏、中村修二氏の3氏、「アベノミクス」の評価を問う衆院選など良くも悪くも話題に事欠かない一年でした。

医療の面で言うと昨年夏に厚生労働省が発表した2013年の日本人の平均寿命は男性80.21歳、女性86.61歳で、いずれも過去最高を更新し、男性が初めて80歳を超えたことが分かりました。国際的な比較では女性は2年連続世界一、男性は前年の5位から4位に上昇しました。今後、高齢化はますます加速していくことが予測されており、結果として歯の欠損に対する治療、いわゆる“補綴（ほてつ）歯科治療”を必要とされる患者数は増大すると考えられています。

私の専門である補綴治療の近年の技術進歩はすさまじく、とくにデジタル技術の臨床応用により補綴歯科治療は大きく変わろうとしています。例えばインプラント治療における3次元的な治療シミュレーション、CAD/CAMを用いたクラウンの製作（クラウンの工業化生産）（写真1）、金属を用いない、いわゆるメタルレス修復など、以前は一部の大学病院で試験的に行われていた治療が、今では一般の歯科医院へも取り入れられ始め、その一部は保険収載されています。

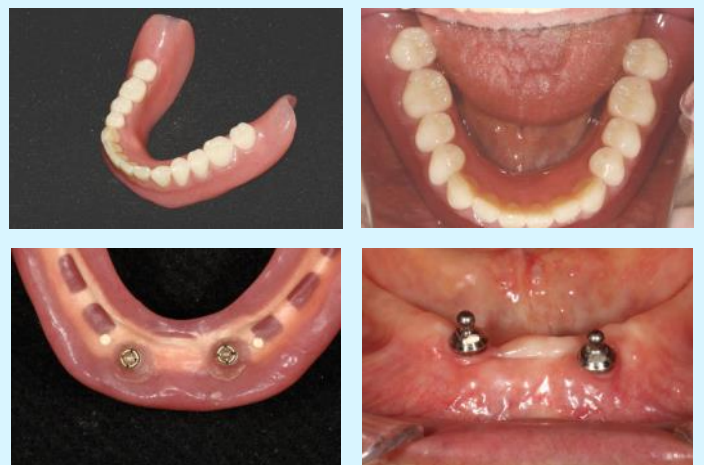


口腔内スキャン

CAD/CAMで作製されたクラウン

写真1

また、歯をすべて失い総入れ歯を作ったけど、入れ歯が安定せず苦労されている方もおられます。補綴専門医が治療しても症例によっては満足して頂けない場合があります。多数のインプラントで固定性の義歯をつくれれば問題を解決できますが、治療費やインプラント手術の侵襲性の問題があり適応できる方は限られます。そういった場合、最少本数（通常2本）のインプラントを用いて入れ歯を安定させるといった治療もあります（インプラントオーバーデンチャー、写真2）。そういった意味での補綴歯科治療のあり方が変わりつつあります。



2本のインプラントを用いて総義歯を安定させる

写真2

私たちが掲げる理念、“患者本位の医療”を実践する上で、個々の患者さんに最適な治療法を選択することが重要です。どんなにすばらしい医療技術であろうと最終的にそれを利用するのは人であり、医療行為を行うのも受けるのも人です。医療の中心は医者・医療技術ではなく病を患う患者であり、技術革新の目的はあくまでも患者本位の医療を行うことです。そうした理念を変わず持ち続けて、超高齢社会において、できるだけ多くの患者の方に日々進歩する先進的な補綴治療の恩恵を享受して頂きたいと強く思っております。

本年も何卒宜しくご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

歯科ドック 紹介

皆様、自分のお口の中の状態を把握していますか？

人間ドックというと、最近では、テレビなどで多く取り上げられており、国民の認知度は非常に高く、受診されている方も多いのではないのでしょうか。しかし、歯科ドックはまだまだ認知度が低く浸透していないように思います。

お口の健康を維持していくことは、全身の健康を保つためにも非常に重要なことであり、人間ドックと同じように歯科ドックでも生活習慣病の改善や口腔疾病の早期発見・早期治療を目指しております。最近では、「歯が痛いから」と歯医者に行くのではなく、歯が痛くなくても予防のために定期的に歯科を受診することをお勧めしています。これからは、予防として口腔管理を行っていくことが大切です。

当病院の「歯科ドック」は、美容歯科の個室診療室に併設され、平成14年9月から開設しております。これまで、受診された方からは非常に高い評価をいただいております。

基本的にお口の健康状態を診ることを目的としており、口腔に疾患がないという前提で検査等を行いますので、健康保険適応外です。

受診対象者は、以下の方です。

- ・健康であると思っておられる方
- ・治療終了後に得られた健康な状態を維持増進したいとお考えの方

なお、歯科ドックでは、治療は行いません。治療が必要な状況が見つかった場合は、他科へのご紹介を含めて受診について相談をお受けいたします。

健診日時：月・火曜日の午前となっております。

歯科ドック 京泉秀明

歯科ドックの流れ

お申し込み

4階 歯科ドック受付もしくは1階 総合受付に申込書がございます。

申込用紙に必要事項をご記入の上、病院受付におだしになるか、郵送してください。

健診は予約制で行っています。

健康診断 当日

健診には約2時間程度かかります。

健康診断 結果報告

来院して頂き、健診結果を歯科医師から説明させていただき、ご相談にのらせていただきます。

健診項目（基本メニュー）

1. むし歯（う蝕の有無と進行程度、かかりやすさ）
2. 唾液（唾液量、pH、細菌の種類と数）
3. 潜血反応（歯周病や粘膜からの出血の有無の判定）
4. 歯周病（歯周病の有無）
5. 口臭（う蝕や歯周病、清掃状態にも関係）
6. 舌・口腔粘膜（粘膜の状態）
7. 噛み合わせ状態・噛む力（左右の均等性の判定も含む）
8. 開口量測定
9. エックス線検査
10. 口腔内カラー写真撮影
11. お口の汚れ程度（汚れの評価、清掃用具の選択、お口のお手入れ法）

料金：基本メニューは
20,000円（税抜）です。

患者満足度調査にご協力をお願い致します

当院では、患者サービスの向上を図るため、患者さんの声をお聞かせいただきたく、下記の4日間において「患者満足度調査」を実施致します。

つきましては、アンケートのご記入にご協力下さるよう宜しくお願い致します。

調査日時：

平成27年2月5日(木) 9:00～17:00

2月6日(金) 9:00～17:00

2月7日(土) 9:00～13:00

2月9日(月) 9:00～17:00



トイレ改修工事完了のお知らせ

平成26年11月より実施しておりました各階トイレ（2階から5階）改修工事は平成26年12月をもちまして全て終了いたしました。

工事期間中はご迷惑やご不便をお掛けいたしました。皆様のご理解・ご協力より、無事に工事を完了する事が出来ました。

新しくなった設備でよりよいサービスを提供できる環境が整いましたので、今後ともよろしくお願いたします。

事務課



患者さん対象 インプラント治療に関する説明会のお知らせ

インプラント治療について、わかりやすく御説明いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

第35回

日時：平成27年2月24日（火）

12時00分～1時30分

第36回

日時：平成27年3月24日（火）

12時00分～1時30分

会場：昭和大学歯科病院 6階 第2臨床講堂

参加費：無料 当日直接会場へお越し下さい。

（事前申し込み不要）

演者：昭和大学歯科病院 インプラントセンター

センター長 尾関 雅彦 教授

事務課

※当日は病院だよりへの掲載、インターネット上での公開のため、イベントの写真撮影、ビデオ撮影を行います。

掲載・公開を希望されない方は、イベント当日に直接スタッフにご相談ください。

ただし、病院だよりへの掲載の場合には掲載後の対応はできませんのでご了承ください。

お問い合わせ：昭和大学歯科病院事務課管理係



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2020年の東京オリンピック開催まで2020日を切りました。どんな選手が活躍するか今から楽しみです。

オリンピック村は昨年3月24日に開院した昭和大学江東豊洲病院近くに建設が予定されており、昭和大学法人も東京オリンピックを全力でバックアップする予定です。さて良い記録を生み出すにはしっかりと噛み合わせが重要なことは周知の通りです。

スポーツマウスピースも含め、ご遠慮なく担当医にお聞き下さい。

(K.T)

